

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37045
事業名	新さっぽろ駅周辺地区まちづくり推進費					
評価担当課	所属名	政)都市計画部 事業推進課				
	課長名	小仲 秀知	担当者名	横平 幸樹	電話番号	011-211-2706
施策名	主	多様な交流を支える交流拠点____1__地域交流拠点				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	市営住宅余剰地(G・I街区)開発の公募提案最優秀提案者による開発を促進し、区域内における低未利用地を活用する。 【AP2019指標】区域内における低未利用地の割合 H30年度:21%⇒R4年度:6%			
		長期	地域交流拠点の中でもゲートウェイ拠点にふさわしい、にぎわいや活性化をもたらすまちづくりを実現するため。			
取組内容	新さっぽろ駅周辺地区のまちづくり推進 ①I街区周辺道路(副都心団地7号線)の拡幅工事 当初、幅員8m~12mの道路であったが、G・I街区開発による機能集積に伴い交通量増加が見込まれるなど、新たな土地利用にも対応できる交通環境を実現するため、バリアフリーの観点も含め、幅員13mに拡幅。R2年度~R3年度の2か年で施工。 ②エリアマネジメント活動に対する初動期支援 G・I街区の開発の中で設立したエリアマネジメント組織が早期に自立し、将来的には周辺地区におけるにぎわい					
	実施結果	①I街区周辺道路(副都心団地7号線)の拡幅工事 R2年度に引き続き、残りの区間の拡幅工事を実施(幅員:8~12m⇒幅員:13m)。また、道路拡幅に伴い用地境界の変更があったため、測量のうえ境界杭を設置し直した。 ②エリアマネジメント活動に対する初動期支援 エリアマネジメント団体が実施した「科学館公園を使った日常的な使い方検証」、「同公園を活用するためのルール検討」、「情報発信(SNSの開設、コンテンツ検討など)」に対して、事業補助を行った。				
事業実施における工夫点	G・I街区の整備完了(まちびらき)までの全体工程を意識しながら道路拡幅工事の施工範囲や実施時期を検討することで、効率的に事業が進むよう調整を図った。					
対象者	市民及び近隣市			開始	平成25年度	終了 令和9年度
関連法令・条例・要綱等	特になし					
他都市の状況	政令市をはじめ、多くの自治体でも拠点におけるまちづくりが展開されている。 また、全国各地でエリアマネジメント活動の取組が拡大している。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	338,291	92,000	88,883	2,500	
うち特定財源	0	78,000	76,000	0	
人工	2.7	2.7	2.7	2.7	
人件費	19,440	19,440	19,440	19,440	
計(事業費+人件費)	357,731	111,440	108,323	21,940	
事業費の内訳	令和3年度決算	○7号線拡幅:86,800千円 <内訳>道路工事費:84,593千円、境界杭設置:2,207千円 ○エリアマネジメント活動初動期支援:2,083千円			
	令和4年度予算	○エリアマネジメント活動初動期支援:2,500千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	市営住宅余剰地の利活用促進			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	G街区完成	I街区整備	I街区整備	I街区一部開業	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	区域内における低未利用地の割合			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	17%	17%	17%	6%	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	①副都心団地7号線拡幅工事の令和3年度区間工事とそれに伴う境界石設置は予定どおり完了した。 ②エリアマネジメント活動の初動期支援では、公共空間の活用や情報発信などを試行的に実施した。また、地域の価値を向上させるため、官民連携によるエリアマネジメント活動の取組みを検討するなど、エリアマネジメント団体との定期的な協議を実施している。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	新さっぽろ駅周辺地区まちづくり計画の対象地区(まちづくり重点エリア)のうち、市営住宅跡地などの5.6haを対象としている。都市計画決定や市有地売買の議決を経ており、新型コロナウイルスの影響により一部遅れが生じたものの、予定どおり公募型プロポーザルの最優秀提案者の開発が進んでいるため、事業規模は適切と言える。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	公募型プロポーザルを導入したまちづくりの推進により、最優秀提案者の民間活力や創意工夫を取り込みながら本市まちづくり計画の実現に向けて官民協働で取り組んでおり、事業手法は適切である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	地域交流拠点の中でもゲートウェイ拠点である当地区のまちづくりを推進することにより、札幌市民及び近隣市民の満足度向上に繋がる。令和3年4月にG街区の大学及び専門学校が開学となったことで、地区内には学生を中心とした若年層が増加しており、にぎわい創出につながっている。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	特になし				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	特になし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	まちづくり計画の実現に向けて、周辺道路等の改良や最優秀提案者による建設工事などハード面の整備に加え、エリアマネジメント実施準備などソフト面の整備についても順調に進んでいる。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 まちづくり計画の実現に向け、エリアマネジメント活動に対する初動期支援を行う。			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 にぎわいや魅力の向上に繋がるエリアマネジメント活動に対する事業補助を行う。		見直し効果額	0 千円